

【埼玉】

上尾・図書館移転計画 住民投票条例案を否決

2016年12月22日

上尾市図書館本館を市中心部から市北部へ移転させる市の計画を巡り、市民団体「上尾の図書館を考える会」の直接請求を受けて市が提出した住民投票条例案が21日、市議会で賛成少数で否決された。同会が1万3000人の署名を基に求めていた計画の賛否を問う住民投票は行われず、当初の予定通り2019年の開館に向けて建設準備が進むことになる。（井上峻輔）

同会は、移転場所がJR北上尾駅から徒歩十八分であることを「利用できない市民が大幅に増加する」と指摘。別の施設との複合化によって図書館の専用面積が減ることや、移転費用が当初の二十億円から三十八億円に膨れ上がったことも問題視していた。

九月末からの一カ月で一万三千五百九十八人分の署名を集め、今月二日に島村穰市長に直接請求した。市長は請求を受け、条例案を市議会に提出。「条例は制定する必要はないと考える」との意見を付けていた。

この日は採決に先立ち、同会の土屋豊子代表（73）と大友弘巳事務局長（76）が議場で意見陳述した。土屋代表は「民意の多数派を尊重せず、議会の多数派で押し切る政治であって良いものか」と訴え、大友事務局長は「市長は一万三千人からの請求をどう受け止めたのか」と詰め寄った。

議員による討論では「市民の代表である市議会が三年間議論を積み重ねた結果だ」と住民投票を否定する声の一方で、「これだけの人が署名した事実を受け止めるべきだ」と請求を尊重する意見も。その後の採決で、賛成十一、反対十八で条例案は否決された。

採決後に会見した土屋代表は「淡い期待もあったが、とても残念。一万三千人の方々の思いをいただいていたが、むなしくもこうなったことに責任を感じる」とうつむいた。会は存続させ、今後も図書館分館の充実などを訴えていくという。

島村市長は採決結果を受け「議会の慎重なる審議、適正な判断をいただいた結果と受け止めている。今後も適切な情報提供に努め、多くの皆さんに親しまれる図書館の建設を推進していく」とコメントを出した。



険しい表情で会見する「上尾の図書館を考える会」の土屋代表（右）と大友事務局長＝上尾市内で

東京新聞の購読はこちら [【1週間ためしよみ】](#) [【電子版】](#)

Recommended by

関連記事ピックアップ

	<p>上尾・図書館移転問題 「住民投票で決着を」 (2016年7月17日)</p>		<p>あなたが審査員！東京中日スポーツ広告賞 読者審査員募集中 3月3日締め切り</p>
	<p>署名1万3491人分集まる 上尾の図書館移転計画で住民投票求め (2016年11月1日)</p>		<p>上尾市立図書館の移転巡り 住民投票求め署名 (2016年10月1日)</p>
	<p>鉾田の「市民交流館」建設 市議会、2つの住民投票条例案を否決 (2016年7月1日)</p>		<p>鉾田「市民交流館」建設 住民投票へ署名1万4000人分 (2016年5月20日)</p>
	<p>ビギナーでも失敗なし！大人気「北欧風インテリア」の取り入れ方 PR(antenna*)</p>		<p>高卒で高収入を実現している人はこんな仕事をしている！ PR(HOW MATCH)</p>



競争企業に勝つ！アイデアを素早くビジネス化するために必要なIT
PR(日本ビューレット・パッカード)



電気料金は何に影響されるの？
PR(電気事業連合会)



マツコ、清掃工場“徘徊”で視聴者から反省の声「ゴミ分別もっとしっかりし」
PR(テレビドガッチ)



【動画】女子大生の成長を描いたショートドラマ公開中
PR(國學院大學)



めざましとランチで紹介のダイエット特集
PR(ビアンネ)

